

NU-EMI 2021Fall

登録方法と G30 講義受講・サポートまでの流れ

今学期もオンライン or オンライン・対面併用の講義が中心となります。

今学期は以下の登録方法とします。

Step1 選ぶ : G30 講義と受講方法を選ぶ

Step2 登録する : 担当教員へメール、NU-EMI 登録

Step3 講義の受講+サポートを受ける!

Step1 選ぶ!

- 1 NU-EMI web サイトの時間割(タイムテーブル)、講義一覧 (コースリスト)、シラバス等から
受講したい講義を探してください

<講義を探す方法>

- ・ NU-EMI 講義：担当教員から日本人学生を受け入れ了解済みの講義です (随時更新します)

- コースリスト・タイムテーブル：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/course/>

- シラバス：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/syllabi/>

- ・ NU-EMI 講義一覧以外の G30 講義

日本人学生の受け入れ可否は、各自で担当教員に問い合わせてください

なお、語学の講義、体育や実習などの講義は対象外です。

- 教養教育院サイト：全 G30 教養科目のリスト

<https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/【fall-semester-ay2021】course-registration-for-g30-international-program-students/>

- 各部局のシラバス：「G30」「英語」等の検索ワードで探してみてください

- ・ 全学教養科目：(この 2 つの講義は、NU-EMI 講義一覧にも掲載しています)

[G30]Special Lecture (Studium Generale I)

https://syllabus.adm.nagoya-u.ac.jp/data/2021/00_2021_X250000065511.html

[共通 (G 3 0)] 数学特別講義 ([共通 (G30)] 数学特別講義 (微分方程式と力学系)

https://syllabus.adm.nagoya-u.ac.jp/data/2021/00_2021_X230000063611.html

- 2 講義の受講方法を決めてください

「単位取得」：講義を受講して単位の取得を目指します。

所属学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。

卒業に必要な単位と認める学部もあれば、卒業に必要な単位と認められない「随意科目」*として扱われる場合があります。詳細は、別紙「国際プログラム専門科目の履修：学部別修得単位と GPA 参入について」をご参照ください。

*「随意科目」：卒業要件に関わらない授業科目で、5 段階により成績評価がなされ成績表に記載されますが、GPA には算入しません。

「最後まで聴講する」：単位取得を目指さない/目指せないが、最後の講義まで受講し続けます。

- ・ 講義には毎回出席してください。出席したりしなかったりは認められません。
- ・ 受講の記録は成績表に記載されません。
- ・ 課題、試験等については直接担当教員と相談してください。

「お試し受講」：講義の難易度、英語レベル等が不安な場合、講義をお試しで受講ができます。

- ・ 試してから、単位を目指すか、聴講にするか、あるいは受講しないかを決められます。
- ・ お試し受講期間は 10/4(月)から 10/15(金)までです。
- ・ お試しする場合も、Step2 の教員と NU-EMI への連絡は必要です。
- ・ お試し受講した結果、受講するか否かを 10/18(月)までに教員に連絡してください。
また、NU-EMI 登録に再入力してください。
- ・ 「受講しない」と決めた場合も、教員と NU-EMI に連絡してください。
- ・ 単位取得受講する場合は、名大ポータルで履修登録が必要となります。

Step2 登録する！

1 担当教員へメール：_

受講する講義の担当教員にメールで、受講（単位取得、聴講）/お試し受講の意志を伝えてください。

- ・ メールアドレスは、講義一覧あるいはシラバスに記載されています。
- ・ メール の 書き方 は、後ろの方のテンプレートを参考にしてください。

*** 金曜 4 限 Literature, Dylan McGee を受講する方は、教員へのメール不要です！**

受講する方、お試ししたい方は下のリンクから signup してください。なお、単位を目指す方は、履修登録も必要です。

https://docs.google.com/forms/d/1kWaoHxxhjsBljYl4Jkw4zyMXZl3zeJR_I016f-4c/viewform?edit_requested=true

*** 金曜 5 限 Studium Generale を受講する方は、教員へのメール不要です！**

なお、単位を目指す方は、履修登録を、聴講の方/お試し受講の方は、Open Course の登録を
してください。

(サイト準備中)

2 NU-EMI の受講登録：

受講方法、サポートの要不要にかかわらず、下のリンクより必ず登録してください。

教員との連携およびサポートを手配します。また各種情報を提供します。

なお、名大ポータルの履修登録とは別で、連携していません。

リンク：<https://jp.surveymonkey.com/r/M65S363>

3 単位取得を目指す場合は名大ポータルで履修登録：

必ず履修登録期間中に履修登録をしてください*。

*2021Spring は受講方法にかかわらず履修登録をお願いしましたが、今学期は単位取得の方のみ履修登録してください。

聴講やお試し受講の方は不要です。

NU-EMI の登録と名大ポータルは別で、連携していませんので、両方でおこなってください。

・履修登録する期間は、科目により異なりますので注意してください。

Step3 講義の受講+サポート

1 10月4日(月)から*講義が始まりますので、受講開始してください。

*講義によっては、その前の週から始まる場合があるので、初回講義日をよく確認してください

2 NU-EMI のサポート

・対象者：学期を通して G30 講義を受講*し、サポートを受け続けることができる方。

(お試し受講中は基本的にサポートを受けられませんが、一部のグループ学習に参加できる場合があります。)

*講義を途中から継続できなくなった場合はサポートも中止します。

・サポートの種類：

●**個人指導** G30 留学生チューターによる 1 対 1 の指導 (週 1.5~2 時間程度)

1) 講義の担当教員が認めた場合、NU-EMI で G30 学生をチューターとして雇用します。

2) 指導時間数は学期を通じて 30 時間です。できるだけフルで指導を受けてください。

3) 指導内容、指導の方法 (対面/オンライン、実施日時、場所等) はチューターと決められます。

参考) NU-EMI の G 30 チューターが作ってくれた、チューター活動についてのビデオです。

・「NU-EMI Tutoring」に参加したきっかけは何ですか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1171.html>

・「NU-EMI Tutoring」はあなたにとってどのようなメリットがありますか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1178.html>

・普段の「NU-EMI Tutoring」では何をしているのですか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1203.html>

・興味がある方にアドバイスがありますか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1210.html>

・印象的な出来事がありますか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1219.html>

●**グループ学習** G30 留学生チューターあるいは留学生 TA と複数の日本人学生とでグループで学習します。(週 1.5~2 時間程度)

1) 講義内容によって、講義の担当教員が初めからグループ学習を決定しているものもあります。この場合は、お試し受講であっても、グループ学習に参加できる場合があります。

参考) グループ学習を行う講義の一つ、水曜 6 限数学特別講義 Special Mathematics Lecture のグループ学習について書かれた受講者の体験談です。(学年は執筆当時のものです)

・理学部 4 年 S さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/968.html>

・理学部卒業生 T さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1260.html>

2) 日本人学生の受講者数次第で、講義の担当教員がその講義のサポート方法をグループ学習とする場合もあります。

●その他

- ・ NU-EMI 講義一覧にない G30 講義であっても、担当教員の受講許可を得られたら、NU-EMI にご連絡ください。サポートのご希望があれば NU-EMI から担当教員に問い合わせます。

< 参考情報 >

★ 受講者説明会：

10月1日（金）午後1時から Zoom で受講者説明会を開催します。

詳細は近くなりましたら、NU-EMI webpage に情報を掲載します。

また、当日の録画を NU-EMI webpage に載せる予定です。

ご参考までに、2021 春学期の説明会の録画です。

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1166.html>

★ 受講者体験談：

農学部1年 Y さん	http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/962.html
情報学部4年 鈴木さん	http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1316.html
生命農学研究科 K さん	http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1313.html
工学研究科前川さん	http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1300.html
工学部4年 M さん	http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1345.html
理学部4年 志村さん	http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1351.html

（学年は執筆当時のものです）

★ ご質問や困ったことがあった場合は、お気軽に NU-EMI 学生窓口へご連絡ください。

NU-EMI 学生窓口：<https://jp.surveymonkey.com/r/VRRTV7Y>

担当教員へメールを送ろう！

★必ず全学のメールアドレスから送ってください。（教員が必要な情報です。）

★テンプレートの<>内の青文字部分を入れるだけで大丈夫です。

★G30 教員には、皆様からメールが届くことをお伝えしていますので、大丈夫です。

* Studium Generale(金曜 5 限)、Literature (金曜 4 限) は教員へのメールが不要です)

<メールテンプレート>

1) 受講の希望を教員に伝えるメール文例:

メールのタイトル : Request to take your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

自分の
情報

I am <Full NAME 名前 例 Hanako MEIDAI (Family name 苗字は CAPITAL letters 全部大文字)> ,
a < 学年 例 first, second, third, fourth > year <SCHOOL 学部 Science, Law, Engineering 等>
student.

My student number is <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) > and my Nagoya University
ID is, < 名大 ID aa0000000 (letters and numbers アルファベットと数字)>.

受講
方法

受講方法によって、a,b,c,d の場合から一つ選んでください

a.単位取得受講の場合、

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> for credits.

b.最後まで聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end.

c.学部の制度上、単位が取れないため、聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end, because regulations
do not permit me to officially take your course.

d.お試し受講の場合、

I would like to try your course, <COURSE NAME 講義名> before I decide whether to take it or not.

講義
内容
の
知識

教員への情報として、講義内容の知識をお伝えすると教員も対応しやすいです。

a, b, の場合から一つ選んでください。

a.講義内容について全く知識がない場合（他学部・学科の講義を受ける場合など）

I have no experience with your course content.

b.講義内容に近い講義を、<日本語で・英語で> 受講した経験がある場合

I have taken similar course < Course name > in <Japanese /English > before.

お
わ
り
に

I ask that you add me to the NUCT/CANVAS list so that I can access your course material.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

2) 受講をやめたい場合のメール文例

受講をやめるのは、何も悪いことではありません。そのように決めた場合、教員にその旨伝えることはとても大事です。受講しないと決めた場合は必ず連絡して下さい。

メールタイトル : Request to withdraw from your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

I am <Full NAME 名前 例 MEIDAI Hanako (family name in CAPITAL letters 苗字は全て大文字で)> ,
student number <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) > .

I would like to withdraw from your course <COURSE NAME 講義名>.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

NU-EMI プロジェクト